

## 大学のあるまちづくりの進捗状況等について

### 1 墨田区・台湾デザイン研究院・千葉大学との三者協定の締結について

#### (1) 経緯

台湾デザイン研究院（以下「TDR I」という。）は、従前から本区と深い関係を有し、平成27年度には、TDR Iの前身の台湾デザインセンターとの間で覚書（MOU）を締結しており、本区のものづくり技術と台湾の優れたデザイン技術の融合による製品開発等、両者において積極的な交流を図ってきた。

また、本区では、令和3年4月の千葉大学墨田サテライトキャンパス開設を契機に、同大学のデザイン・リサーチ・インスティテュートと連携し、地域課題の解決に向けて、とりわけ、デザインの知見を活用した共同研究・共同事業を実施してきた。

本年5月、区・TDR I・千葉大学の三者で意見交換の場を持ったところ、TDR Iが有する世界有数の製品デザイン技術、そして、千葉大学が有する文化デザイン・視覚伝達デザイン等のあらゆる領域のデザインに関する知見を融合し、三者による緊密な連携のもと、本区のものづくり産業の更なる発展を目指していくことで、一定の合意を得た。

#### (2) 協定の締結について

以上の経緯を踏まえ、三者による連携を確実なものとするため、次のとおり三者協定を締結し、本区における地域課題の解決及び地域経済の活性化を一層図っていくこととする。

- ア 協定名称 (仮称) 墨田区・台湾デザイン研究院・千葉大学における連携事業に関する協定
- イ 締結日 令和5年10月25日(水) (予定)
- ウ 主な内容 ①三者によるデザイン交流の促進及び新製品開発  
②産業振興及び人材・観光交流の活性化

#### (3) 協定締結後の具体的な取組

「台湾設計×日本精造」を基軸とした製品開発を区とTDR Iが中心に進める。そして、製品を取り巻くストーリーづくり等、販売促進に向けたデザインアプローチを千葉大学が担うこととする。



すみだモダンの台湾商談会の様子（平成28年度）



千葉大学の「視覚伝達デザイン」の知見を活用したワクチン接種会場案内システム（グッドデザイン・ベスト100受賞）

## 2 千葉大学墨田サテライトキャンパスの機能強化について

### (1) 漢方カフェの開設について

大学が地域に開かれ、区民が大学を身近に感じることが出来る場を目指して、千葉大学環境デザイン研究室の教員・学生が中心となり、墨田漢方研究所の監修のもと、カフェの開設に向けてメニュー開発を進めている。

今後、区民向けの試飲会等を経て、UDCすみだと連携し、キャンパス1階でのカフェの運用開始を目指している。



- ・開設時期：令和5年12月頃～
- ・試飲会：すみだまつり・こどもまつりでの出展（予定）

### (2) 墨田キャンパスを活用した国際会議等の実施について

#### ア 世界デザイン会議 東京2023

世界180以上の団体・機関が加盟する、デザインの国際団体（WDO）主催によるデザイン会議。日本では34年ぶりに開催される。

- ・開催期間：令和5年10月27日（金）～29日（日）
- ・内容：研究・教育フォーラム（有料）  
ポスター展示等（入場無料）
- ・参加規模：500名



#### イ サステイナブルキャンパス推進協議会

全国の国立大学等で構成する一般社団法人サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）主催による2023年次大会

- ・開催日時：令和5年11月18日（土）  
午前10時～午後6時15分
- ・内容：シンポジウム・事例発表・サステイナブルキャンパス賞表彰式等
- ・参加規模：200名（事前申込必要）

